

令和元年度

鹿児島市一般会計・特別会計歳入歳出  
決算及び基金運用状況審査意見書

鹿児島市監査委員



監 査 第 6 6 号  
令和 2 年 8 月 4 日

鹿児島市長 森 博 幸 殿

鹿児島市監査委員	内 山	薫
同	小 迫 義	仁
同	山 口	健
同	長 浜 昌	三

令和元年度鹿児島市一般会計・特別会計歳入歳出  
決算及び基金運用状況の審査意見の提出について

地方自治法第 2 3 3 条第 2 項及び同法第 2 4 1 条第 5 項の規定により、審査に付された令和元年度鹿児島市一般会計・特別会計歳入歳出決算及び附属書類並びに基金の運用状況を示す書類について審査した結果、次のとおり意見を決定したので、鹿児島市監査委員条例第 7 条及び同条例第 1 0 条の規定に基づき提出します。

# 目 次

## 令和元年度鹿児島市一般会計・特別会計歳入歳出決算審査意見

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
1	決算の総括	2
(1)	決算の状況	3
(2)	予算の執行状況	4
2	一般会計	6
(1)	歳入	6
第1款	市 税	10
第2款	地方譲与税	13
第3款	利子割交付金	14
第4款	配当割交付金	14
第5款	株式等譲渡所得割交付金	14
第6款	地方消費税交付金	15
第7款	ゴルフ場利用税交付金	15
第8款	自動車取得税交付金	16
第9款	環境性能割交付金	16
第10款	地方特例交付金	16
第11款	地方交付税	17
第12款	交通安全対策特別交付金	18
第13款	分担金及び負担金	19
第14款	使用料及び手数料	20
第15款	国庫支出金	21
第16款	県支出金	22
第17款	財産収入	23
第18款	寄附金	24
第19款	繰入金	25
第20款	繰越金	26
第21款	諸収入	26
第22款	市債	28

(2) 歳 出 .....	30
第1款 議 会 費 .....	32
第2款 総 務 費 .....	33
第3款 民 生 費 .....	34
第4款 衛 生 費 .....	36
第5款 農 林 水 産 業 費 .....	37
第6款 商 工 費 .....	38
第7款 土 木 費 .....	39
第8款 消 防 費 .....	41
第9款 教 育 費 .....	42
第10款 災 害 復 旧 費 .....	44
第11款 公 債 費 .....	45
第12款 諸 支 出 金 .....	47
第13款 予 備 費 .....	48
3 特 別 会 計 .....	49
(1) 土地区画整理事業清算特別会計 .....	49
(2) 中央卸売市場特別会計 .....	51
(3) 地域下水道事業特別会計 .....	54
(4) 桜島観光施設特別会計 .....	57
(5) 国民健康保険事業特別会計 .....	60
(6) 介護保険特別会計 .....	64
(7) 後期高齢者医療特別会計 .....	68
(8) 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計 .....	72
4 財産に関する調書 .....	76
第5 ま と め .....	79
付 表 .....	83
(その1) 歳入歳出決算総括表 .....	84
(その2) 純計決算総括表 .....	84
(その3) 一般会計歳入・歳出款別決算総括表 .....	86
(その4) 一般会計歳出節別決算総括表 .....	88
(その5) 特別会計歳入・歳出決算総括表 .....	90
(その6) 主な施設の利用状況の推移 .....	92

## 令和元年度鹿児島市基金運用状況審査意見

第1	審査の対象	101
第2	審査の期間	101
第3	審査の方法	101
第4	審査の結果	101
1	総括	102
2	基金別運用状況	102

### 注 記

- 1 文中の金額は、原則として万円単位で表示し、単位未満は切り捨てた。また、諸表中の千円単位については、原則として単位未満は切り捨てた。  
したがって、合計額又は差引額が一致しない場合がある。
- 2 諸表中の「△」を付した数値は、減又はマイナスの数値である。
- 3 文中及び諸表中の比率は、原則として小数点第2位を四捨五入した。  
したがって、比率の合計又は差引が一致しない場合がある。
- 4 文中及び諸表中の前年度に対する増減率において、当年度に全て増加したものは「皆増」と、全て減少したものは「皆減」と表示している。
- 5 諸表中の「ポイント」とは、百分率間又は指数間の単純差引数値である。
- 6 諸表中の「0.0」は、該当数値はあるが単位未満のもの又はポイントで差引数値が0のもの、「-」は、該当数値がないか、あっても算出不能なものである。
- 7 単年度収支は、当該年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いたものである。

令和元年度鹿児島市一般会計・特別会計  
歳入歳出決算審査意見





# 令和元年度鹿児島市一般会計・特別会計 歳入歳出決算審査意見

## 第1 審査の対象

### 1 一般会計

令和元年度 鹿児島市一般会計歳入歳出決算

### 2 特別会計

令和元年度 鹿児島市土地区画整理事業清算特別会計歳入歳出決算

令和元年度 鹿児島市中央卸売市場特別会計歳入歳出決算

令和元年度 鹿児島市地域下水道事業特別会計歳入歳出決算

令和元年度 鹿児島市桜島観光施設特別会計歳入歳出決算

令和元年度 鹿児島市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

令和元年度 鹿児島市介護保険特別会計歳入歳出決算

令和元年度 鹿児島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

令和元年度 鹿児島市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算

## 第2 審査の期間

令和2年6月22日から同年8月4日まで

## 第3 審査の方法

各会計の歳入歳出決算書及び政令で定める書類が、関係法令に基づいて作成されているか、計数は正確であるか、また予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、関係部局から提出された資料と照合点検するとともに、関係職員から説明を聴取するなどの方法により審査を実施した。

## 第4 審査の結果

各会計の歳入歳出決算書及び政令で定める書類は、いずれも関係法令に基づいて作成されており、計数は正確であると認めた。

また、各会計における予算の執行は、おおむね適正かつ効率的であると認めた。

各会計における歳入歳出の状況は、個別に記載のとおりである。

## 1 決算の総括

当年度の一般会計及び特別会計の決算額の総計は、歳入3,996億4,882万円、歳出3,959億8,554万円、差引額は36億6,328万円で、総計決算額から、各会計相互間における繰入金及び繰出金の重複額164億5,944万円を控除した純計決算額は、歳入3,831億8,937万円、歳出3,795億2,609万円となっている。決算の概要は次の表のとおりである。

### 決 算 の 概 要

(単位：千円)

区 分	歳 入	歳 出	歳入歳出 差 引 額 (A)	翌年度へ繰り 越すべき財源 (B)	実質収支 (A)-(B)
一 般 会 計	271,461,164	265,211,881	6,249,283	1,866,567	4,382,716
特 別 会 計	128,187,657	130,773,659	△ 2,586,001	209	△ 2,586,211
総 計 (C)	399,648,822	395,985,540	3,663,281	1,866,777	1,796,504
重 複 額 (D)	16,459,446	16,459,446	0	—	—
純 計 決 算 額 (C) - (D)	383,189,375	379,526,093	3,663,281	—	—
一 般 会 計	271,456,934	248,756,664	22,700,269	—	—
特 別 会 計	111,732,441	130,769,429	△ 19,036,988	—	—

## (1) 決算の状況

総計決算額を前年度と比較すると、歳入は132億8,670万円(3.4%)、歳出は155億3,152万円(4.1%)それぞれ増加している。

これを会計別にみると、一般会計では歳入は147億1,939万円(5.7%)、歳出は159億3,670万円(6.4%)それぞれ増加している。

また、特別会計では歳入は14億3,268万円(1.1%)、歳出は4億517万円(0.3%)それぞれ減少している。

総計の歳入歳出差引額及び実質収支を前年度と比較すると、歳入歳出差引額は22億4,482万円(38.0%)、実質収支は25億2,944万円(58.5%)それぞれ減少している。

当年度の単年度収支を会計別にみると、一般会計は15億171万円、特別会計は10億2,772万円のそれぞれ赤字となっている。

### 決 算 額 の 状 況

(単位：千円，%)

区 分	元 年 度	30 年 度	前 年 度 比 較		
			金 額	増 減 率	
一 般 会 計	歳 入	271,461,164	256,741,768	14,719,396	5.7
	歳 出	265,211,881	249,275,179	15,936,701	6.4
	差 引 額	6,249,283	7,466,589	△ 1,217,305	△ 16.3
	実 質 収 支	4,382,716	5,884,433	△ 1,501,717	△ 25.5
	単年度収支	△ 1,501,717	329,604	△ 1,831,321	△ 555.6
特 別 会 計	歳 入	128,187,657	129,620,347	△ 1,432,689	△ 1.1
	歳 出	130,773,659	131,178,832	△ 405,173	△ 0.3
	差 引 額	△ 2,586,001	△ 1,558,485	△ 1,027,516	△ 65.9
	実 質 収 支	△ 2,586,211	△ 1,558,485	△ 1,027,726	△ 65.9
	単年度収支	△ 1,027,726	402,311	△ 1,430,037	△ 355.5
総 計	歳 入	399,648,822	386,362,115	13,286,706	3.4
	歳 出	395,985,540	380,454,011	15,531,528	4.1
	差 引 額	3,663,281	5,908,103	△ 2,244,822	△ 38.0
	実 質 収 支	1,796,504	4,325,947	△ 2,529,443	△ 58.5
	単年度収支	△ 2,529,443	731,915	△ 3,261,358	△ 445.6

## (2) 予算の執行状況

一般会計及び特別会計の当初予算額の総計は3,942億1,800万円で、補正予算において168億7,622万円を増額し、前年度からの繰越額80億7,288万円を加えた予算現額は4,191億6,710万円となっている。

また、予算現額に対する収入率及び執行率は、それぞれ95.3%、94.5%となっている。

これを会計別にみると、一般会計では収入率が95.7%、執行率が93.5%、特別会計ではそれぞれ94.6%、96.5%となっている。

(単位：千円)

区 分	予 算 現 額			
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	繰越財源充当額 又は繰越額	計
一 般 会 計	267,033,000	8,576,523	8,022,884	283,632,407
特 別 会 計	127,185,000	8,299,698	50,000	135,534,698
総 計	394,218,000	16,876,221	8,072,884	419,167,105

(歳入)

(単位：千円，%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
一般会計	283,632,407	281,832,756	271,461,164	△ 12,171,242	95.7	96.3
特別会計	135,534,698	133,523,086	128,187,657	△ 7,347,040	94.6	96.0
総 計	419,167,105	415,355,842	399,648,822	△ 19,518,283	95.3	96.2

(歳出)

(単位：千円，%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不用額	執行率
一 般 会 計	283,632,407	265,211,881	12,980,891	5,439,634	93.5
特 別 会 計	135,534,698	130,773,659	3,108,540	1,652,497	96.5
総 計	419,167,105	395,985,540	16,089,432	7,092,131	94.5

なお、総計決算の歳入、歳出及び歳入歳出差引額の推移並びに会計別歳出額の推移は、次のグラフのとおりである。

### 総計決算の歳入、歳出及び歳入歳出差引額の推移

